軽自動車税廃車申告書兼標識返納書
(原動機付自転車・小型特殊自動車)

年　　月　　日

鳴門市長 殿

つぎのとおり申告及び標識の返納をします。

廃　車

第三十四号様式

申告の理由	種　別	
廃　車	原動機付自転車	小型特殊自動車
□ 廃棄 □ 譲渡 □ 転出 □ 盗難・紛失 □ 標識変更 □ その他 (　　)	□ 第一種 一般原付 (総排気量0.05L又は定格出力0.6kW以下) □ 第一種 一般原付(新基準原付) (総排気量0.125L以下かつ最高出力4.0kW以下) □ 第一種 特定小型原付 (定格出力0.6kW以下) □ 第二種 乙 (総排気量0.09L又は定格出力0.8kW以下) □ 第二種 甲 (総排気量0.125L又は定格出力1.0kW以下) □ ミニカー	□ 農耕作業用 □ その他 (　　)

標識番号	鳴門市
廃車年月日	年　　月　　日

納税(申告)義務者

所有者

住所又は所在地	〒□□□－□□□□
(フリガナ) 氏名又は名称	
生年月日	昭・平・令　　年　　月　　日　　電話番号

使用者

住所又は所在地	〒□□□－□□□□
(フリガナ) 氏名又は名称	
生年月日	昭・平・令　　年　　月　　日　　電話番号

主たる定置場	1.左記所有者の住所又は所在地と同じ 2.

車名	型式及び年式	原動機の型式番号
	型 年式	
車台番号	**型式認定番号**	**総排気量又は定格出力**
		L kW

長さ(特定小型原付のみ)	幅(特定小型原付のみ)	最高速度(特定小型原付のみ)	最高出力(新基準原付のみ)
(1.9m以下) cm	(0.6m以下) cm	(20km/h以下) km/h	(4kW以下) kW

標識返納の有無	標識返納がない場合、その理由
1. 有 2. 無	イ. 盗難　ロ. 紛失　ハ. 破損　ニ. その他(　　) 具体的に:

届出者

住所又は所在地	
(フリガナ) 氏名又は名称	
電話番号	

盗難届出

届出年月日	年　月　日	被害年月日	年　月　日
届出警察署	警察署		交番・駐在所
受理番号			

宛名番号:

〈廃車申告される方へ〉

この廃車申告対象車両について、廃車申告した納税義務者から再度登録申告があった場合は、廃車から再度登録申告までの期間について、他の者又は他市町村での登録の事実が確認できない限り、廃車申告した納税義務者を対象として、廃車年月日に遡って登録・課税されます。

□ 上記の点を確認の上、廃車申告します。

第34号様式記載要領

１　この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車１台ごとに作成すること。

２　「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の□（チェック欄）にレを記入すること。なお、「種別」の欄については、該当箇所の□（チェック欄）のいずれか１つのみにレを記入すること。

３　「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。

４　「納税（申告）義務者」の欄の「住所又は所在地」には、都道府県、市町村名、番地まで記入すること。

また、納税義務者等がビル等に入居している場合又は同居人である場合には、ビル等の名称のほかに棟号数、室番号又は○○様方のように、郵便物が確実に届くように記入すること。

５　「納税（申告）義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみをすべて記入し、使用者欄は「同上」とすること。

６　「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入し、納税義務者本人による申告の場合は「同上」とすること。

７　「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については１を○で囲み、それ以外の場合については２の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。

８　「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄は、特定原付の申告時のみ記入すること。

９　「最高出力」の欄は、総排気量0.125L以下かつ最高出力4.0kW以下の第一種一般原付（新基準原付）の申告時のみ記入すること。

10　「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には１を、また、標識の返納のない場合には２を○で囲むこと。なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を〔　〕内に記入すること。

11　「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。